

定住促進の取り組み

喜茂別町の人口は、昭和53年当時は4千385人でしたが、平成25年3月末には、2千366人まで減少しました。しかし近年、企業誘致や新規就業・就農事業での定住者の増加のための政策がはじまり、今年度に入ってから、人口が増加傾向にあります。

町は、さらに定住者を増やすためにどのような取り組みを展開していくのでしょうか。

人口増加への取り組み

喜茂別町は、これまで町民の皆様に住み続けていただけたように、定住促進施策を行ってきました。その後、生活するための原点に返り、道路整備や町営住宅建設、上下水道整備などの住環境の整備、保育所の入所年齢の引き下げなどの子育て環境の整備等を行い、さらに、都市部から移住してもらうきっかけとなる地域おこし協力隊、新規就業、新規就農、そして、企業誘致を実施してきました。今年度に入り2か月連続で月間の人口が増加しました。これは、一時的なことなのか、精査しなければなりません。企業誘致などにより、雇用の場が増えたためと考えられます。また、定住希望者のため、平成24年度から民間賃貸住宅の建設費助成を行い、公営住宅料並の家賃で民間住宅に住んでいただけるように7月1日からは家賃助成が始まることなどの影響と考えられます。



定住促進事業で建てられた民間賃貸住宅

定住の目指すところ

菅原章嗣町長にお伺いしました

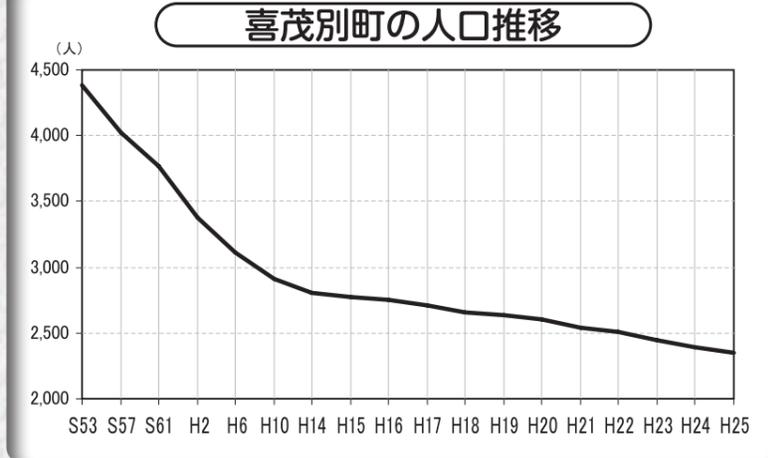
これまで町は、人口増加のために、いろいろと努力をしてきました。平成10年度から補助金中心の定住策を講じてきていましたが、財政的な課題や効果を検証して継続いたしませんでした。

定住を促進するには、まず、安定した雇用の場があり、医療や教育が安心して受けられ、地域社会が安定し、なおかつ、住んでみたいと思うという条件を満たさなければならぬのではないかと考えるようになりました。

このような中で高等学校が閉校となり、病院の経営状態の悪化、病床の廃止、高齢化率が35%を超えるなど暗いニュースが多く、これに対しては一時的ではなく、何としても雇用の場が確保できる企業誘致が必至の条件と考えました。町民の皆様のご協力により一定の企業誘致ができたことにより雇用の場が生まれ、現実的に定住化が進んでおります。

平成24年度からは定住基本条例を制定し、新規就業や新規就農の促進、定住促進のための住環境の整備、高等学校への通学費支援などに取り組んで参りました。

これからも、わが喜茂別町に住み続けてもらえるよう、また、町外からも住んでみたいと思われるよう、定住の促進に向けた取り組みを進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



7月1日から 家賃助成 が始まりました



町では定住促進の一環として民間賃貸住宅家賃助成事業を始めました。民間賃貸住宅に入居されている方に家賃の一部を助成することで、町内で安心して生活していただけるようになりました。

どのような人が 対象になるの？



- 登録された民間賃貸住宅にお住まいの方
- 世帯全員が税金などを滞納していない方
- 入居期間が3か月を超える方
- 満65歳未満の方
- 住宅手当やほかの家賃助成を受けていない方
- 世帯全員の所得額の合計が次表の基準を超えない方 など

同居親族及び扶養親族の数	所得額
0人	300万円
1人	350万円
2人	400万円
3人以上	450万円

助成の金額は？



家賃の月額（駐車場料金・管理費含む）から2万円を引いた額の2分の1を助成します。ただし、上限は、2万円を千円未満切り捨てとなります。

例 家賃 月額5万円の場合
(5万円-2万円)÷2=1万5千円
1万5千円の助成になります！

交付時期は？



3か月ごとに交付されます。交付決定がされてから、毎回請求手続きが必要となります。なお、平成25年7月1日から平成30年3月31日までの家賃が対象となります。

平成25年7～9月分	9月末までに請求 10月交付
平成25年10～12月分	12月末までに請求 1月交付
平成25年1～3月分	3月末までに請求 4月交付
平成26年4～6月分	6月末までに請求 7月交付

どんな手続き が必要？



- ①申請書に必要な事項を記入して、その他必要な書類とあわせて役場企画室に申請します。
- ②役場から決定通知書が届きます。
- ③請求書に必要な事項を記入して、その他必要な書類とあわせて役場企画室に請求します。
- ④町から助成金が指定した銀行口座に交付されます。

これは最初の1回だけです！
該当するかどうかの判定をします。

③～④までを、3か月ごとに繰り返します。
手続きはお忘れなく！

※申請に関するお問い合わせは、役場総務課企画室までお願いします。
電話 33-22211
IP端末 33-5005

6月に入り転入の手続きのため役場の窓口を訪れる方が多く見られるようになり、町としては1年半ぶりに人口が2千400人を超え、町中にも若い方の歩く姿が見られるようになりました。

今後、医療・福祉・教育など安心して暮らし続けることができる環境づくりを行うとともに、住む人たちが自ら知恵を出し合い、より良いまちづくりの取組みができるよう支援し、いきいきとした笑顔があふれる喜茂別町の建設を進めてまいります。

